

志學館大学での 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和6年2月8日(木)10:30～11:35

場所:志學館大学

令和6年4月

鹿児島市 市民協働課

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	志學館大学 学生	<p>タイトル：鹿児島市の緑茶を全国へ広めたい</p> <p>私たちは3人ともお茶が好きで、このテーマを選んだ。</p> <p>鹿児島県は、お茶の葉の生産量全国2位で多くのお茶の種類があり、その中でも松元茶を広めたいと考えているが、認知度が低く、お茶に対しても興味を持つ人は少数だと考える。</p> <p>鹿児島市では対策として新茶まつりのイベントを開催している。自分たちにできる対策としては、剣道部が海外と交流する機会が多いことから、飲み物を提供する際に鹿児島市のお茶をPRすることによって人気を誘い、販売数1位を取るとともに、生産量1位を奪還したい。</p>	<p>自分たちが好きだから広めたい、何とかしたいという気持ちは、非常にありがたい。特に若い世代の皆さんが緑茶が好きというのは非常にうれしい。</p> <p>日本の緑茶自体は海外でも認知されていると思うが、鹿児島茶、松元茶をPRする際に、「日本で1番の生産地」というのと、「2番」とではインパクトが違うので、ぜひ皆さんにお茶を飲んでもらい、静岡を抜く日を待ちたい。</p> <p>今後の課題としては、量を作るのも大事だが、農家の方が続けていくためには、値段を上げていくことも重要である。実は静岡と鹿児島を比較する際、一反あたり収穫量のデータを見た時に、静岡は段々畑で高級茶を作っているパターンが多く、鹿児島は平地に大規模農業で、ペットボトルで使うお茶を作っていることが多い。ただペットボトルで使うお茶は、3番茶・4番茶と呼ばれて、単価はかなり低いというのが現状である。</p> <p>緑茶を入れるといったライフスタイルを若い皆さんに広げてもらうことで、1番茶・2番茶の値段が獲得できて、鹿児島のお茶が売れ、農家の方が潤い、後継者が入ってくる。</p> <p>このような循環をつくり出せればと思うので、是非お茶を飲むライフスタイルを若い皆さんに、工夫して広げていただきたい。</p>	産業局	【産業局】 市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	志學館大学 学生	<p>タイトル：火山buyプロジェクト</p> <p>鹿児島市の名物である桜島を活かし、桜島の降灰が抱えるマイナスな印象をポジティブに変える、飲食店振興計画「火山buyプロジェクト」を実施する。</p> <p>鹿児島県がコロナ禍で実施していた「ぐりぶクーポン」を参考に、桜島の火山噴火が観測された次の日から、期間中に登録されている飲食店で2000円ごとに500円割引ができる「火山buyクーポン」を鹿児島市の公式ラインで配布し、経済効果を見込む。</p> <p>クーポンを活用したプロジェクト実施の利点は以下2点。 ①県が実施した「ぐりぶクーポン」のアンケートで利用者・事業者ともに高い評価を得られた良い前例があるので、市民から好意的に受け入れられ、多くの利用が予想される。 ②ぐりぶクーポンのノウハウが県にあるので、安定した基盤でスムーズに運営できる。</p> <p>リスクとしては、クーポンの利用増に比例し、人手不足の飲食店が忙しくなり、事業者側の負担になるおそれがある。</p>	<p>ぐりぶクーポンは、当時、国からコロナ対策のための補助金が県に下りたので、それを使って実現できた。「噴火した日にサービスをする」というのは、エンターテイメントとして面白いと思って聴いていた。</p> <p>今、鹿児島市では観光アプリ「わくわく」を運用しており、例えば灰が降る日はポイント倍付けするという仕組みがあっても面白いと思いながら伺っていた。</p> <p>政策立案の際には、飲食店だけではなく、どこの業界まで適用するかを考えなければならないことも、ぜひ伝えておきたい。</p> <p>観光アプリ「わくわく」の中には、飲食店だけではなく、土産物屋等、いろいろな観光関連のものを対象としているため、この中でアイデアを活用できると面白いと思う。</p>	観光交流局	<p>【観光交流局】</p> <p>ご提案のプロジェクトについては、観光振興の面では、遠方の居住者ほど噴火翌日の飲食店の割引等を目的に急遽、本市への旅行を計画するとは考えにくく、大きな誘客効果は見込めないことから、現在のところ実施する予定はありませんが、ご提案のアイデアについては、観光CRMアプリ「わくわく」を活用した誘客や観光消費額の拡大キャンペーン等を検討・実施する際の参考にさせていただきます。</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	志學館大学 学生	<p>タイトル：かごしまMarriage Club</p> <p>人口減少の対策として、市と大学の共催で、若者に出会いの場を提供する。すぐに結果は出にくいですが、市への流出人口や結婚率が増加しやすくなり、消費が増えることにつながる。市と大学で実施するポイントは以下4点が考えられる。</p> <p>①恋愛と結婚を強く結びつけている人が多いので、出会いのきっかけを増やすことで結婚率の上昇が見込める。</p> <p>②市がこのようなイベントを行うことで、注目度が高まり、交流や移住の増加につながる。</p> <p>③市と大学が運営することで、ある程度厳粛な雰囲気を出すことができ、安心して参加できる。</p> <p>④人数が集まりやすい。</p> <p>この対策を実施する前に、市民に対し、結婚についてどう思っているかアンケートを実施し、この計画を行って欲しい人、行って欲しくない人の意見を聴き、よりイベントの内容について調整をしたいと考えている。</p>	<p>お見合いからスタートして、出会いの場が時代によってどのように変化してきたのかということも、上手くまとめていただいた。</p> <p>お見合いのような人的なマッチングの場が少なくなり、初対面同士になってくると、身元や安心を担保する仕組みが必要であり、それが行政が実施する意味だと思いつきながらお聴きした。</p> <p>若い方はアルバイトやサークル等、出会いの場があるのではないかと思ってしまうが、そのような事情や今回取り上げたきっかけを教えていただきたい。</p> <p>（学生回答→社会に出た友人が、職場の男女比の差が大きく、とにかく出会いがないという事を強く言っていたので、このテーマを取り上げた。）</p> <p>回答いただいた通り、職種、業種、業態によって男女比に偏りがあることは事実なので、そういったところのマッチングも面白いと考える。</p>	こども未来局	【こども未来局】 市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	志學館大学 学生	<p>タイトル：鹿児島県内の労働者の現状と対策</p> <p>外国人労働者が日本での生活で困っていることとして、「言葉の壁」「物価が高い」「文化や習慣の違い」といった問題がある現状を踏まえ、以下の対策案を提案する。</p> <p>①外国人労働者に日本語や仕事内容等を教える「お世話係」を1企業につき1人配置する。</p> <p>②生活面での困りごとを手助けするアプリ「かごんまライフサポート」を作成、配信する。</p> <p>③外国人の母国の料理屋や雑貨屋等を集めた「ESC横丁」を設置する。</p>	<p>これから日本も鹿児島も働く人が決定的に足りなくなる。数字で申し上げると、皆さんの世代のおじいさんたちの世代は同級生が270万人、皆さんの世代だと同級生は110万人なので、2.5倍違う。人が足りなくなる中で、今まさに外国人労働者に正面から向き合わなければいけない時代がやってきた。</p> <p>外国人の方が住みやすくなる環境について、横丁に関してはおそらく自然的に形成されるものとする。鹿児島市では、今年度、外国人の住んでいる方向けのアプリを開発、配信した。また、皆さんにぜひ「やさしい日本語」を覚えておいていただきたい。これは分かりやすく言うと、ひらがな言葉、話し言葉で、外国の方とお話する際は意識していただくとありがたい。</p> <p>外国人労働者なしでは、おそらくこれからの日本の市場はやっていけない。その中でぜひ若い皆さんが柔軟に、時代の雰囲気を作っていただければありがたい。</p> <p>そのためにも、皆さんが学生のうちにぜひ外国に行ってほしい。外国人として現地に行った際に、何に困るのか、どういうことがあったら過ごし易くなるのか気づいてほしい。例えば、飲食店に写真付きメニューを置く。これは、英訳を記載するのはもちろんであるが、食べたことがない食材に、写真や番号をつけて、言葉は分からなくても、注文できるようにしている。そのようなところも外国人として見て、分からない中でどういうことで不便と感じるのかという体験があってこそなので、ぜひ皆さんには、自分が外国人となる経験、海外に旅に出る経験を学生のうちにやっていただきたい。</p>	総務局 産業局	<p>【総務局】 ②市長回答のとおり</p> <p>【産業局】 ①県の「外国人材受入企業等支援事業」において、外国人材の安定的な受入れや定着に向け、職場の受入体制整備や地域交流等に取り組む県内の受入事業所に助成支援を行っていることから、引き続き周知広報を行ってまいりたい。</p> <p>③市長回答のとおり</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	志學館大学 学生	<p>タイトル：いっど鹿G o ! ～鹿児島の魅力にきづいてもらおう～</p> <p>鹿児島食や歴史などの魅力を知ってもらうために、鹿児島の人等をキャラクター化したゲームアプリを開発する。 市街地にある銅像などをスポットにしてアイテムを得たり、天文館などで購入した特産物をアプリ内でアイテム化できる。</p> <p>このゲームアプリの一押しポイントは、発表メンバーの一人を初期キャラクターにして全員に無料配布することと、ボスキャラにマグニオンや大久保利通、西郷隆盛を使うことである。</p> <p>鹿児島市中心市街地の歩行量は年々減少しているため、このゲームにより市街地歩行者の増加につながると考えている。 また、鹿児島市は教育旅行の受入が県内1位であるため、このアプリを修学旅行等で取り入れてもらえれば、鹿児島史を知ってもらうという教育効果も期待でき、外国語版も作成することで海外の方にもゲームを楽しみながら鹿児島市を観光してもらえるのではないかと考えている。</p>	<p>本市としても、鹿児島中央駅から甲突川、天文館、港、桜島、鹿児島駅といったエリアを歩いて楽しめるまちづくりを進めている。 アプリを活用するうえで、アプリをインストールしてもらうのは難しいという課題があるが、ゲーム感覚でまちを歩いて楽しんでもらうやり方は非常に面白いと思った。</p>	総務局 産業局 観光交流局 建設局	<p>【総務局】 PRキャラクター「マグニオン」のSNSや「鹿児島ファンアプリわくわく」のスタンプラリー等を活用し本市の魅力発信やまちを回遊する取り組みを実施している。ゲームアプリ開発については、費用や効果、活用等の研究を要するものであり現段階で考えていないが、さらに、ゲーム感覚を生かすことで若い世代や観光客が楽しみながら歩いて本市の魅力を感じることが増えるものと考えているので、今後の取組の参考にしてまいりたい。</p> <p>【産業局】 本市中心市街地の主要30地点における1日あたり歩行者通行量(10月第3週土日平均)の直近5年間の推移をみると、令和元年度149,663人、2年度123,529人、3年度123,820人、4年度143,403人、5年度152,116人と、2年度以降、新型コロナ感染拡大の影響により一旦大きく減少したものの、4年度、5年度は回復基調にある。 令和6年度から取り組む第4期中心市街地活性化基本計画では、街なかのにぎわいの状況を把握する指標として、歩行者通行量を設定し、令和10年度の目標値171,000人を目指し、回遊性を高める各種事業などに取り組むこととしている。 ゲームアプリの開発・利用により、中心市街地への来街者が増加し、中心市街地のにぎわい創出に繋がれば良いと考えている。</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
					<p>【観光交流局】</p> <p>・令和9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機に、西郷隆盛をはじめ鹿児島県の偉人を生かした誘客等に向け、現在観光ニーズの把握や有効な施策等の調査・検討を進めているところであり、調査等を行う中でご提案のアプリの開発等の有効性、必要性についても研究したいと考えています。</p> <p>（参考） 令和6年2月26日から、県が鹿児島県の歴史や観光をテーマにしたスマホ向けゲームアプリの配信を開始している。</p> <p>島津義弘等を登場人物に、ゲームに登場する特産品を買える仕組みや、御楼門や仙巖園などの観光地の案内など、まち巡り等の効果も期待されている。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	志學館大学 学生	市長が考える鹿児島市の一番の長所はどこか。	鹿児島市の長所を一言でいうと、都会と田舎の良いところができるということである。 チェーン店や買い物をする場所があり、都会の便利さがあるとともに、10～15分走れば海や山があり、温泉が身近にあり、低価格で利用できるように、都会の便利さと海や山での癒しを同時にとれることが一番の魅力だと考える。	—	—

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年2月8日（木）10：30～11：35
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	志學館大学 学生	学生世代に意識してほしいことや、学んでほしいことは何か。	<p>外国に出てみることも一つ。</p> <p>今のITでどういうことができるかをぜひ知ってほしい。デジタルを使いこなす勘を身に付けてほしい。これからの業界に行くにしても、ITを活用して機械にできることは機械に任せ、人は人でしかできないことをするために、この感覚は絶対に必要になる。具体的には、世の中の様々なニュースに気を配り、ITでこういうことができる、サービスが提供されたなどの情報を追うようにしていただきたい。もう一つは、実際にサービス等を使ってほしい。</p>	—	—
8	志學館大学 学生	今年、鹿児島市の採用試験に挑戦する予定である。市長はどのような職員を望まれているか。	<p>これからの人口減少時代は、いろいろな仕組みを変える必要がある。好奇心を持って、世の中の仕組みを変えようとチャレンジする人材を求めている。役所の中だけで仕事をするのではなく、民間のいろんな人と話をしたりして、何で困っているのか、どんなサポートをしてほしいのかなど、そういった感覚を持って仕事をしてもらいたい。</p>	総務局	【総務局】 市長回答のとおり